

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・組織など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

当科で施行した原発性胆汁性胆管炎(PBC)に対する肝移植症例 16 例の後ろ向き検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 小川 晃平（肝胆膵・乳腺外科 准教授）

【研究の目的】

当院を受診され、手術を施行した原発性胆汁性胆管炎（PBC）患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、術前の肝機能の状態や移植肝の重量、術後の予後などについて評価する研究を行うことといたしました。この研究は PBC 患者さんにおける肝移植後の経過および当院の成績を全国成績と比較検討することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2001 年 9 月から 2020 年 1 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち PBC と診断され、肝移植手術を施行した患者さん（利用するカルテ情報）性別、年齢、手術日、手術時間、術中出血量、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

【共同研究について】

この研究は、当施設単独で行っています。

データ解析は愛媛大学医学部肝胆膵・乳腺外科で行います。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科 氏名：小川 晃平

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科 宇都宮 健

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327